

## 千代田区図書館評議会 令和2年度図書館評価シート

評価項目	① 千代田ゲートウェイ	総合評価	
------	-------------	------	--

## 〈主な取り組み〉

- 1 区立図書館ホームページ・SNS等による広報活動
- 2 コンシェルジュによる総合案内、地域情報の収集・提供
- 3 区立図書館情報誌の発行
- 4 区の歴史・文化・芸術などに関する様々なテーマのセミナー・イベント、展示等の開催
- 5 本の街神保町や区内の大学・文化施設等との連携

指標		元年度実績	2年度実績	対前年度比	実施状況等	
1	ニュースリリースの発信回数	千代田	10	3	30.0%	<p>コロナ感染症拡大に伴い、多くの企画・イベントが開催できない事態となり、それらの情報を伝える外部発信が減少しました。</p> <p>一方、緊急事態宣言の発出や解除に伴う開館情報は、日比谷ではFacebookやtwitterで、千代田ではメールマガジンで開館情報を配信したため、その発信回数が増加しています。</p> <p>千代田ではコロナ禍で注目された電子書籍を扱うWeb図書館への取材、また図書館のコロナ対応への取材が目立ちました。</p> <p>緊急事態宣言が解除された6月末～10月末には定例の「神保町ツアー」5館連携企画「スタンブラリー」のほか「特別展」「日比谷カレッジ」などを実施し、通常の広報を行っています。</p>
		日比谷	26	17	65.4%	
	取材対応件数	千代田	26	31	119.2%	
		日比谷	93	82	88.2%	
	メディア露出件数	千代田	107	51	47.7%	
		日比谷	160	69	43.1%	
	ちよびたブログの更新回数	千代田	60	56	93.3%	
	ちよびたブログアクセス回数	千代田	19,135	15,516	81.1%	
	Facebook・Twitterでの情報発信回数	千代田	110	78	70.9%	
		日比谷	179	539	301.1%	
メールマガジンの配信回数 (区内教育施設等への配信を除く)	千代田	13	22	169.2%		
	日比谷	12	10	83.3%		
メールマガジン登録者数(3月時点)		2,604	2,616	100.5%		
2	図書館内での区内情報発信 (SNS等による発信を除く)	千代田	10	10	100.0%	<p>来館者向けに、区内の催物情報を出来るだけ発信しました。</p> <p>日比谷は休館に伴う減少です。</p>
		日比谷	21	18	85.7%	
3	図書館情報誌・広報誌の発行回数	千代田	4	3	75.0%	<p>千代田は4月発行分を急遽見送り。日比谷はカレッジ中止による発行減です。</p>
		日比谷	12	10	83.3%	
4	企画展示(ウォール展示)回数	千代田	4	4	100.0%	<p>千代田では入館者数が前年比36.0%に対し、企画展示資料貸出数が74.7%の実績となったのは、企画内容と展示クオリティ向上によるものと認識しています。</p> <p>企画展示関連イベントは、コロナ禍の影響もあり未実施でしたが、今後日比谷と連動したものと予定です。</p> <p>オリンピック・パラリンピック関連は、コロナ禍により開催が不透明となったため展示を控えた結果です。</p>
	企画展示資料貸出数(平均)	千代田	2,407	1,797	74.7%	
	企画展示関連セミナー・イベント回数	千代田	1	0	0.0%	
	オリンピック・パラリンピック関連企画数	千代田	4	2	50.0%	
日比谷		5	2	40.0%		
5	区内関係施設(区内大学、博物館等)との連携企画数	千代田	6	6	100.0%	<p>コロナ感染症の影響により、連携に至らないケースが増加しました。</p> <p>共立女子大、二松学舎大、近代美術館などとの連携企画や古書店の協力で地域情報コーナーで展示ができました。</p>
		日比谷	4	2	50.0%	
	地域産業との連携企画数	千代田	11	5	45.5%	

〈指定管理者による自己評価〉	b
<p>コロナ感染症の拡大により、座席数50%以内での開館が約6割、70%以内での開館が2割、休館が2割という非常事態での運営は、政府や都の方針を背景とした区の方針に基づき、その都度利用者への告知、使用できる座席数の変更、アクリル板設置、新たな動線の確保、検温・消毒・入館票記入のお願いと体制づくり、掲示物の変更など多くの作業が必要とされたものの、何より所管課の的確な指示と情報共有により、大過なく運営できたのではないかと認識しています。</p> <p>しかし、当然ながら少なからずコロナ禍の影響を受け、広報や情報の発信・企画関連の数値に関して、予定とは差のある実績となっておりますが、実施可能な範囲では上限の実施が達成できたと考えています。</p>	

〈評議会委員の評価〉	

## 千代田区図書館評議会 令和2年度図書館評価シート

評価項目	② ビジネスを発想するセカンドオフィス	総合評価	
------	---------------------	------	--

## 〈主な取り組み〉

- 1 ビジネス関連資料の整備
- 2 ビジネスパーソンをターゲットにしたイベント等の開催
- 3 商用オンラインデータベース提供
- 4 電源付閲覧席・インターネット利用環境等の整備
- 5 貸室の提供による交流支援

指標		元年度 実績	2年度 実績	対前年 度比	実施状況等	
1	ビジネス関連資料の満足度 (利用者アンケート結果)	千代田	84.4	82.3	97.5%	前年比で大きな変動はありませんが、千代田では年度末に近い1月末からビジネス書評サイト「ブックピネガー」との連携による書棚を新設し動向を注視しています。
		日比谷	84.2	87.9	104.3%	
2	日比谷カレッジ企画数	日比谷	114	78	68.4%	屋間の講座を増やしたり、20時終了としたりしましたが、基本的にコロナ禍により企画数だけでなく参加者数の減少が顕著でした。
	日比谷カレッジ満足度平均	日比谷	91.7	92.5	100.8%	
3	データベース利用件数	千代田	4,366	4,073	93.3%	千代田では一部データベースを入替え4つの新規データベースを導入しました。利用者数の減少ほど利用件数は落ち込んでいませんが、千代田において満足度の上昇が見られないのは、利用時間の設定(1回30分:延長1回)を変更できていないことが大きいと考えています。日比谷では利用者アンケートにおいて、新聞雑誌の種類についての不満がありました。
		日比谷	2,339	1,825	78.0%	
	データベース利用満足度 (利用者アンケート結果)	千代田	88.3	84.4	95.6%	
		日比谷	91.2	90.8	99.5%	
データベース講習会の実施回数	日比谷	2	0	0.0%		
4	キャレル席・電源付閲覧席の利用件数	千代田	23,637	10,751	45.5%	閲覧席50%制限時は、キャレル席、インターネット席も、利用を一つ置きに制限しました。利用者数の減少に伴った実績だと認識しています。無線LANは利用者の利便性向上のため、千代田図書館、日比谷図書文化館、四番町図書館の3館で固有のIDを取得し導入しており、図書フロアはじめ活動エリアをカバーしています。
		日比谷	26,173	10,026	38.3%	
	インターネット席利用件数	千代田	9,394	4,427	47.1%	
		日比谷	4,592	2,215	48.2%	
	無線LANの提供	千代田				
日比谷						
5	特別研究席の利用件数	日比谷	7,110	2,194	30.9%	特別研究席利用者の多くは2時間以上の滞在を希望しているため、図書館での滞在上限が2時間である期間は極端に利用が落ち込んでいます。また、貸室関連の数値は開館しても収容人数の制限で数値は伸びませんでした。
	貸室稼働率(研修室・会議室・ホール)	千代田	71.30	37.47	52.55%	
		日比谷	58.08	25.22	43.42%	

〈指定管理者による自己評価〉	b
<p>コロナ禍による緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置の内容によって、時短開館、一部サービス提供のみの開館、座席数の変更、貸室提供における定員の変更等その都度の対応をこなしてきました。</p> <p>日比谷カレッジは、開催を前提として通常と変わらぬ業務と並行しながらの対応となり、講演者との調整や申込者への中止・変更連絡、今後の方針伝達・相談等多くの追加作業が必要となり、例年以上に作業量が増えた運営となりました。</p> <p>各種利用件数は、総じて開館状況に応じた数値が実績となっていますが、その中でデータベース利用件数が高い数値となっているのは、図書館が利用できない方からのレファレンス希望が一定数あり、その対応として、職員がデータベースにアクセスした件数が含まれています。こうした状況下で、千代田のデータベース利用規定の変更やその他いくつかの利用改善策を実行に移せなかった点は心残りですが、運営規定の変更については、周知徹底の面から通常運営時に行うことが望ましく、十分な検討と整備を心がけていきます。</p> <p>特別研究席は時間制限を設定する限り、大きな伸びは期待できません。ここ3年ほどで飛躍的に伸びてきた利用件数ですが、急激な回復は特別研究席がもつ「個別性」「静寂性」という利点を損なうことにもなりかねず、慎重に対応を進めます。</p>	

〈評議会委員の評価〉	

## 千代田区図書館評議会 令和2年度図書館評価シート

評価項目	③ 区民の書齋	総合評価	
------	---------	------	--

## 〈主な取り組み〉

- 1 資料の収集・管理
- 2 中高生向け資料の収集、読書環境の整備
- 3 レファレンスサービス・読書相談の受付（資料探しのお手伝い）
- 4 障害者サービス（郵送貸出、拡大読書器の設置等）の提供
- 5 電子書籍、音楽配信サービス等デジタルコンテンツの提供

指標		元年度 実績	2年度 実績	前年度 対比	実施状況等	
1	資料の貸出数	在住	379,145	312,462	82.4%	コロナ禍における閲覧席の制限において、区民席は定員数を確保するようにしました。利用者数の減少に比べ、資料の貸出数の減少傾向は緩やかです。外出できずに家の中で読書・仕事をするためのニーズが上がったものと推測しています。但し学生はリモート授業で外出しないことが貸出数減に直結しているようです。入館時に検温や手指消毒、入館票の記入など利用者に面倒な手続きをお願いするにあたり、専従者を常駐させ、丁寧な説明と理解・協力を求める真摯な姿勢を心がけました。利用者満足度は総じて高い数値を維持していますが、四番町は移転に伴うスペース・蔵書数の減少が満足度に大きく影響していると思われる。
		在学	13,351	4,839	36.2%	
		在勤	247,531	148,518	60.0%	
		区外	245,459	161,758	65.9%	
	相互貸借利用件数（借用）	共通	3,640	2,302	63.2%	
	相互貸借利用件数（貸出）	共通	2,628	2,168	82.5%	
	利用者満足度 ※移転作業のため、四番町図書館における令和元年度の来館者調査は未実施。	千代田	95.7	94.3	98.5%	
		日比谷	96.2	94.9	98.6%	
		四番町	-	83.4	-	
		昌平	94.5	96.7	102.3%	
蔵書満足度	千代田	83.1	85.7	103.1%		
	日比谷	85.3	83.2	97.5%		
区民登録率(区の人口に占める区民登録者の割合)		17.0	18.8	110.6%		
2	中高生向け図書展示回数	千代田	4	4	100.0%	中高生席の利用満足度が90%に満たないのは座席数の増加を望む声が多いためです。現在は上昇傾向にあります。
		四番町	5	6	120.0%	
	中高生席の利用満足度	千代田	-	89.3	-	
3	レファレンス・読書相談件数	千代田	5,431	5,513	101.5%	レファレンス・読書相談件数は、千代田と日比谷で利用者傾向が異なりますが、利用者層の違いがそのまま数値に反映していると思われます。千代田ではレファレンスの内容が高度化しており対応に追われる状況が続いています。
		日比谷	7,276	4,730	65.0%	
	パスファインダー作成・更新件数	千代田	2	4	200.0%	
		日比谷	2	7	350.0%	
4	郵送貸出件数	共通	65	287	441.5%	郵送貸出件数の増加は、外出を危惧する社会環境の影響だと思われます。
	点字資料・大活字本・デイジー図書等蔵書数	共通	2,050	2,651	129.3%	
5	千代田Web図書館貸出件数		9,124	21,981	240.9%	コロナ禍による外出自粛傾向により、貸出数は倍増しています。それに応じて所蔵タイトル増に努めており、公共図書館としては他を凌駕する状況です。
	千代田Web図書館満足度		-	90.0	-	
	千代田Web図書館所蔵タイトル数		8,323	9,838	118.2%	
	音楽配信サービス(ナクソス) 利用件数		66,118	66,642	100.8%	

〈指定管理者による自己評価〉	b
<p>座席数50%以内での開館が約6割、70%以内での開館が2割、休館が2割という運営状況で、基準となる数値目安を44%と仮置きすると、「区民の書齋」における各項目は総じて高い実績値となっています。特に利用者満足度について一定の評価をいただいていることは今後の励みとなります。</p> <p>こうした状況下、高度な回答が要求されるレファレンスの増加は、通常時に利用者本人が行っている作業を図書館職員が代わって行うというコロナ禍ならではの現象が発生しており、職員のレファレンス能力向上の機会となっています。</p> <p>また、コロナ禍でがぜん注目度が上昇した電子図書ニーズの高まりは、千代田Web図書館の貸出数倍増をもたらしました。今後千代田のみならず全国の図書館にとって大きな課題となることが予想されます。</p> <p>公共図書館のWeb図書館導入第1号として、引き続き蔵書拡大を行うと同時に、出版の街でもある千代田区の特徴を活かして出版社・取次との連携を深め、最新の情報を入手するとともに、電子書籍の利点を生かした新たな活用や普及に繋がる活動を継続していきます。と同時に、かつてのレコードやCDに比較してはるかに利便性と音質に優れた音楽配信サービスのナクソスは今後も告知を進めます。</p>	

〈評議会委員の評価〉	

## 千代田区図書館評議会 令和2年度図書館評価シート

評価項目	④ クリエイトする書庫	総合評価	
------	-------------	------	--

## 〈主な取り組み〉

- 1 古書販売目録、内務省委託本、一橋・駿河台図書館業務資料、内田嘉吉文庫等の活用
- 2 特別研究室の利用促進
- 3 特別展・特別展関連イベントの実施
- 4 一般図書展示

指標		元年度 実績	2年度 実績	対前年 年度比	実施状況等	
1	古書販売目録、内務省委託本、一橋・駿河台図書館業務資料の調査・研究	千代田	5	2	40.0%	コロナ禍で人流の抑制と三密を避けるために開催を控えつつ、内務省委託本研究会を比較的スペースが広い外部施設を借りて2回実施しました。ただし、レポート発表は4月にずれ込んだため未実施となっています。古書販売目録は一部の補修、業務資料はアンケートのまとめに留まっています。
	内務省委託本、一橋・駿河台図書館業務資料の研究結果の発表	千代田	0	0	—	
	地域資料の受入件数	共通	289	241	83.4%	
2	特別研究室モーニングセミナーの開催回数	日比谷	41	29	70.7%	モーニングセミナーは、大きな空白を空けないよう一部リモートを導入して実施しています。利用者特性として長時間滞在型が多く、滞館制限の2時間がネックで、入室者は大きく減少しています。
	特別研究室企画展示回数	日比谷	4	4	100.0%	
	特別研究室入室者数	日比谷	11,968	4,689	39.2%	
3	特別展入場者数（年2回平均）	日比谷	7,861	5,479	69.7%	1回目(10/16-12/16)はタイミングよく開催でき、入場者は4,412名でした。2回目(1/22-3/23)は緊急事態宣言下でしたが、関心が高く6,545名の入場者数でした。来場者の満足度は、高い数値を維持しています。
	特別展満足度（年2回平均）	日比谷	95.3	96.6	101.4%	
	特別展示関連講座実施回数	日比谷	3	4	133.3%	
	特別展示関連講座満足度（平均）	日比谷	91.3%	93.3%	102.1%	
4	一般図書展示回数	日比谷	194	197	101.5%	フロアごとのテーマで毎月更新している日比谷をはじめ、一般図書展示は、ほぼ予定どおりの展示回数を確保しました。昌平の展示回数は、休館中の更新を行わなかったため、減少した数値となっています。四番町の蔵書回転率は、蔵書の移転による減少が影響しています。日比谷カレッジと図書フロアの連携企画は、日比谷カレッジ開催が減少したことが原因です。
		四番町	10	34	340.0%	
		昌平	12	10	83.3%	
		神田	6	6	100.0%	
	蔵書回転率（貸出冊数÷蔵書数）	千代田	137.92%	98.80%	71.64%	
		日比谷	76.01%	56.48%	74.31%	
		四番町	93.37%	190.58%	204.11%	
		昌平	240.68%	171.38%	71.20%	
		神田	493.18%	318.71%	64.62%	
	日比谷カレッジと図書フロアの連携企画回数	日比谷	26	11	42.3%	

〈指定管理者による自己評価〉	b
<p>千代田のコレクション研究は、中心的存在だった研究者の方が1名お亡くなりになったため、遅れた実施となり、内務省委託本研究のみの開催となっています。</p> <p>一橋・駿河台図書館業務資料の研究発表は、東京市立図書館時代のまとめとすべきですが、中央区の京橋図書館にある資料の未確認の状態が続き、今後の研究は進められない状態です。</p> <p>古書販売目録は、閉架書庫の収納に限界があること、研究目標を明確にしにくいことを併せて可能な範囲での保存を目標とします。そのため今後は、新たな蔵書コレクションの整理と研究が必要だと考えています。</p> <p>日比谷のモーニングセミナーは、江戸末期から近代化を迎えた日本における「知」の原点や正しい「歴史」を示すことのできる貴重な資料群「内田嘉吉文庫」を基に400回を超えた研究会資料を蓄積してきており、今後デジタル化を見据えて一般利用者への告知が課題だと考えています。</p> <p>日比谷の特別展は、コロナ禍にあって予想以上の集客実績を上げることができています。各館の一般図書展示はほぼ予定どおりに実施したものの、入館者数の減少が残念ではありますが、蔵書回転率が比例して落ち込むことがなかったのは、読書振興を目指した図書展示が一役買っていると考えています。</p>	

〈評議会委員の評価〉	



## 千代田区図書館評議会 令和2年度図書館評価シート

評価項目	⑤ ファミリーフィールド	総合評価	
------	--------------	------	--

## 〈主な取り組み〉

- 1 子どもと大人の読書環境の整備
- 2 児童図書展示等による読書振興
- 3 おはなし会、子ども・親子向けイベント等の実施
- 4 子ども読書調査の実施
- 5 学校等支援事業

指標		元年度 実績	2年度 実績	対前年 度比	実施状況等	
1	児童資料貸出数	千代田	45,131	37,565	83.2%	貸出数は、コロナ禍での各種数値の中でも比較的高い数値となっています。その原因は、子どもたちの自宅で過ごす時間の増加に伴い、「読書」の機会が増加したことが影響していると考えられます。 区内児童施設へのリサイクル本の提供は、2回目となり、コロナ対策をした上で実施しました。
		四番町	82,757	74,971	90.6%	
		昌平	19,355	16,036	82.9%	
		神田	39,130	21,419	54.7%	
	児童資料満足度	千代田	87.3	86.3	98.9%	
	児童室・赤ちゃんルーム満足度	四番町	-	92.7	-	
	託児サービス利用者数	千代田	15	14	93.3%	
区内児童施設へのリサイクル本の提供冊数		461	401	87.0%		
2	児童資料展示回数	千代田	45	30	66.7%	展示回数は、コロナ禍での4月・5月の全館休館による減少した数値となっています。しかしながら、4月・5月を除いて、ほぼ季節ごとのテーマを取り上げ、計画どおり実施できました。
		四番町	20	15	75.0%	
		昌平	12	10	83.3%	
		神田	10	9	90.0%	
	図書館での児童向けブックリスト作成数	共通	8	5	62.5%	
区内教育施設等への情報発信 (メールマガジン発信)回数		12	10	83.3%		
3	おはなし会実施回数	千代田	11	6	54.5%	おはなし会は、コロナ禍により、できる範囲での実施回数となっています。また、開催する上で三密を避けるために定員を減らしており、参加者数は低くなっています。 四番町は移転後に意識しておはなし会の実施を確保したものの、参加者数は同様に低くなっています。 千代田のイベントが前年実績と変わらなかったのは中高生のための古書店街ツアーの申し込みが3件あったため、夏のわくわく授業も含めてコロナ対策を講じて何とか実施したものの、集客規模が大きい「ヨムキクちよだ ことばと音のフェスティバル」が中止となり、参加者数は大きく減少しています。
		四番町	39	47	120.5%	
		神田	11	0	0.0%	
	おはなし会参加者数	千代田	308	40	13.0%	
		四番町	1,059	551	52.0%	
		神田	268	0	0.0%	
	おはなし会満足度	四番町	-	87.5%	-	
	ブックスタート参加者数		499	463	92.8%	
	子ども向けイベント実施回数	千代田	4	4	100.0%	
四番町		17	4	23.5%		
子ども向けイベント参加者数	千代田	239	52	21.8%		
	四番町	372	74	19.9%		
4	子ども読書調査における不読率 (1カ月の読書冊数が0冊の子どもの割合)	小学生	2.1%	2.5%	119.0%	社会全般のデジタル化が影響していると考えられます。
		中学生	12.7%	20.5%	161.4%	
5	支援先での読み聞かせ・ブックトーク実施回数		1,538	1,152	74.9%	主たる対象が学校の先生であるレファレンス関連は、前年を上回る件数でした。 児童対象の活動であるイベント回数は、コロナ禍による対策を講じたうえで、できる範囲で行動した結果の数値となっています。
	支援先でのレファレンス・読書相談の受付回数		933	962	103.1%	
	支援先でのブックリスト作成数		65	32	49.2%	
	支援先での保護者・ボランティア向けイベント回数		12	9	75.0%	

〈指定管理者による自己評価〉	b
<p>コロナ禍にあつて児童資料の貸出数・満足度が比較的高い実績となったのは、利用者動向によるところが大きいとはいえ、資料展示やおはなし会、イベント等を予定どおり準備し、可能な限り実施にこぎつけた成果だと考えています。</p> <p>ただし、三密を避けた定員数の削減により参加者数が伸びていないのは想定内です。また、おはなし会の神田の実績0は、併設小学校の図書室利用が不可となった影響で実施できていない結果です。</p> <p>子ども読書調査における不読率について、特に中学生で8%近く増加していますが、一方、電子書籍を読んだことがある生徒が10%近く増加しています。その相関関係は定かではありませんが、子どもにとって電子書籍が読書の対象外となっている可能性を否定できないため、今後のアンケートで相関関係の確認が必要だと考えています。</p> <p>千代田の大きな特色である学校支援司書の派遣では、コロナ禍で不安定となった学校の日常において、図書担当教員の不安解消や業務支援は平常時にも増した業務となりました。</p>	

〈評議会委員の評価〉	

## 千代田区図書館評議会 令和2年度図書館評価シート

評価項目	⑥ 管理運営等	総合評価	
------	---------	------	--

## 〈主な取り組み〉

- 1 利用者サービスの質的向上
- 2 職員の各種スキル向上・人材育成
- 3 利用環境の整備、施設維持管理業務
- 4 レストラン・カフェ&ショップの運営
- 5 その他総務

指標		元年度 実績	2年度 実績	対前年 度比	実施状況等	
1	入館者数	千代田	567,791	204,121	36.0%	完全な形での開館が全くなかったため千代田、日比谷の入館者数は昨年度比で35%ほどに落ち込んでいますが、その状況下で5館合計の新規登録者数が前年比で50%を上回ったことは、正常に戻った際の基礎数値がある程度見込める要素だと考えています。
		日比谷	702,565	249,202	35.5%	
		四番町	203,518	115,533	56.8%	
		昌平	86,897	45,095	51.9%	
		神田	149,561	65,307	43.7%	
	新規登録者数	共通	23,131	12,373	53.5%	
2	職員研修参加人数（延べ人数）	共通	466	449	96.4%	職員研修は、ほぼ予定どおりの参加者数となっていますが、外部研修は、中止になったものも数少なくありません。 職員の対応に関しては、コロナ対策で不満が出やすい中、ほぼ例年並みの満足度を得られました。
	職員対応満足度 ※移転作業のため、四番町図書館における令和元年度の来館者調査は未実施。 ※まちかど図書館は令和元年度まで項目なし。	千代田	96.9	95.1	98.1%	
		日比谷	97.8	95.6	97.8%	
		四番町	-	96.4	-	
		昌平	-	100.0	-	
	神田	-	96.3	-		
3	合理的配慮件数 ※障害をお持ちの方のほか、LGBTQの方への合理的配慮も含む。	共通	493	242	49.1%	入館者数の減少に比べ、合理的配慮はしっかり行われました。 コロナ感染防止対策として、入館時に手指消毒、検温、入館票の記入を利用者をお願いすることあたり、確実にスムーズに、手間のかからないよう自動消毒器や低温度でも反応する検温器や入館票の記入台などを整備しました。また、閲覧席もアクリル板を設置し飛沫拡散対策や、ソーシャルディスタンスに配慮し、座席を間引くなど、利用環境を整備しました。
	利用環境整備 ※新型コロナウイルス感染症対策を含む。	共通				
4	レストラン、カフェ&ショップ来客数	日比谷	108,409	37,794	34.9%	営業時間短縮、貸切不可、客席数減などの制限により、大幅に利用者が減少する中、メニュー数を減らしながらも可能なサービスを継続しました。
5	防災・避難訓練実施回数	千代田	2	2	100.0%	防火・防災・避難訓練は、全館で規定通り実施しました。別途、救命救急講習やMFA講習を1回は必ず受けるようしてきました。 区内大学からの実習生受入は、予定通りの実施ができました。
		日比谷	2	2	100.0%	
		四番町	2	2	100.0%	
		昌平	1	1	100.0%	
		神田	1	1	100.0%	
	視察対応件数	千代田	18	6	33.3%	視察対応件数は、コロナ感染症の影響で極めて少ない実績となっています。
	日比谷	18	1	5.6%		
区内大学からの実習生受入人数	千代田	3	3	100.0%		
	日比谷	4	4	100.0%		

〈指定管理者による自己評価〉	b
<p>千代田図書館は入館者の漸減傾向が落ち着いてきた状況の中、コロナ感染症の影響で振り出しに戻った感があります。しかし、新規登録者数が前年比で50%を超えたこと、職員対応満足度が高水準を維持していることは、社会が平常に戻った際に、千代田のみならず各館において、いち早く利用者の拡大が見込める基盤は崩れていないと確信しています。</p> <p>また、試行錯誤を繰り返しながら、他の類似施設と比べてもきめ細かいコロナ感染症対策を実施できた大きな要因が、第一に利用者の理解によるものだとしても、職員の緊急時における新たな経験がスキル向上に繋がっていると考えています。</p> <p>レストラン、カフェ&amp;ショップや視察件数などは、平常に戻った時には、ある程度の数値は確実に確保できるものと考えております。</p> <p>為すべきことは為し、次に向かって体制を整えることができていると考えています。</p>	

〈評議会委員の評価〉	